

水産庁

プレスリリース

平成22年10月8日
水産庁

「2010年度 第二期 北西太平洋鯨類捕獲調査 沿岸域鯨類捕獲調査(釧路沖)」の結果について

本年度の「2010年度 第二期 北西太平洋鯨類捕獲調査 沿岸域鯨類捕獲調査(釧路沖)」が、10月6日(水曜日)に終了しましたので、その成果概要についてお知らせします。

1. 調査概要

鯨類の捕食が漁業資源に与える影響評価に関するデータを収集するため、ミンククジラの捕獲調査を行い、胃内容物の餌生物種の同定、内容物量の測定、生物学的情報の収集等を行いました。

- 調査期間 9月7日(火曜日)～10月6日(水曜日)
- 調査実施主体 一般社団法人 地域捕鯨推進協会
- 調査海域 北海道釧路市釧路港を中心とした半径50マイル以内の海域
- 調査船 標本採集船4隻
- 調査団構成
加藤 秀弘 総括(東京海洋大学 教授)
吉田 英可 団長((独)水産総合研究センター 遠洋水産研究所 主任研究員) 他17名
- 捕獲頭数 ミンククジラ 60頭
- 主な発見鯨種 ミンククジラ、ザトウクジラ、ツチクジラ、シャチ等

2. 調査結果概要

- ミンククジラの発見数は126群127頭であった。
- 捕獲頭数の組成は、雄41頭、平均体長5.80m(4.05-7.70m)、雌19頭、平均体長5.44m(4.49-6.86m)であった。
- 胃内容物については、スケトウダラを捕食していた個体が最も多く(36個体、全体の60.0%)、カタクチイワシが続いた(21個体、35.0%)。

3. その他

(参考)

- 平成22年9月6日付けプレスリリース「2010年度第二期北西太平洋鯨類捕獲調査(JARPNII)沿岸域鯨類捕獲調査(釧路沖)」の開始について

<http://www.jfa.maff.go.jp/j/press/enyou/100906.html>

— お問い合わせ先 —

資源管理部遠洋課
担当者: 捕鯨班 高屋、川村
代表: 03-3502-8111(内線6724)
ダイヤルイン: 03-3502-2443
FAX: 03-3591-5824

 ページトップへ

Copyright:2007 Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

〒100-8907 東京都千代田区霞が関1-2-1 電話:03-3502-8111(代表)

水産庁